学校番号	1004

令和８年度　理科

教科	(学)生命科学	科目	(学)ソレイユ・ガーデン	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な共生推進教室の生徒（知的障がいの生徒）との関りを通じて、自己や他者をより深く理解し、豊かな人間性を育てて、これからの多様な人々との共生社会の中で生きていってほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】 個々の特性を理解し、日常生活における困りごと、悩みごとに気づく能力（問題発見力）をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 個々に応じた関り、支援のあり方を、仲間とともに工夫、議論をして、より効果的な方法で行動をとる力（問題解決力）をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 他者への理解、自己への理解を深めることにより、円滑なコミュニケーション力と人間関係づくりができる態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身近な人の多様性、特性、障がいの状況を理解、受容し、適切な支援の方法をとることができる。 障がいや支援の知識を幅広く学び、それを実践できることが必要である。	支援の方法を、工夫、発案し、グループでより効果的な支援のありかたを考えて行動することができる。 個々の特性を理解し、その人に応じた支援の方法を見つけ出すことが必要である。	日常活動の中で、支援が必要としている身近な人に対して、周りの人と協働して積極的に支援の方法を考え、行動をとることができる。 共生社会において、周りと協力して、適切な行動をとることが必要である。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	知的障がい	・知的障がいとは ・知的障がいの行動上特性 ・併発する様々な障がい ・支援の必要性	a：一般的な多様性、障がいを理解し、適切な支援の方法を考えることができる。 b：支援の方法を、工夫、発案し、グループでより効果的な支援のありかたを考えることができる。 c：日常活動の中で、支援が必要としている人に対して、周りの人と協働して積極的に支援の方法を考えることができる。	ワークシート	ワークシート レポート 行動観察	ワークシート レポート 行動観察
	言語上の支援	・障がい者とのコミュニケーションワーク ・言語上の特性 ・言語上の支援	a：身近な人とのコミュニケーションを通じて、多様性、特性、障がいの状況を理解、受容し、適切な支援の方法をとることができる。 b：言語上の特性に対する支援の方法を、工夫、発案し、グループでより効果的なありかたを考えて行動することができる。 c：日常活動の中で、コミュニケーションにおける支援が必要としている身近な人に対して、周りの人と協働して積極的に支援の方法を考え、行動をとることができる。	ワークシート 実技テスト	ワークシート レポート 行動観察 発表	ワークシート レポート 行動観察

2学期	作業上の支援	・障がい者との作業 ・作業、機能上の特性 ・作業、機能上の支援	a: 身近な人との作業を通じて、多様性、特性、障がいの状況を理解、受容し、適切な支援の方法をとることができる。 b: 機能上の特性に対する支援の方法を、工夫、発案し、グループでより効果的なありかたを考えて行動することができる。 c: 日常活動の中で、作業における支援が必要としている身近な人に対して、周りの人と協働して積極的に支援の方法を考え、行動をとることができる。	ワークシート 実技テスト	ワークシート レポート 行動観察 発表	ワークシート レポート 行動観察
	運動・身体上の支援	・障がい者とのゲーム・スポーツ ・運動、身体上の特性 ・運動、身体上の支援	a: 身近な人と身体を動かす活動を通じて、身体上の多様性、特性、障がいの状況を理解、受容し、適切な支援の方法をとることができる。 b: 身体上の特性に対する支援の方法を、工夫、発案し、グループでより効果的なありかたを考えて行動することができる。 c: 日常活動の中で、身体を動かす活動での支援が必要としている身近な人に対して、周りの人と協働して積極的に支援の方法を考え、行動をとることができる。	ワークシート 実技テスト	ワークシート レポート 行動観察 発表	ワークシート レポート 行動観察

3学期	多様な共生社会	・自己理解 ・他者理解 ・多様性の理解 ・共生社会の重要性	a: 身近な人の多様性、特性、障がいの状況を理解、受容すると同時に、自己理解をし、共生社会でのあり方を考えることができる。 b: 共生社会における、支え支えあう関係が何なのか、グループでより有意義なありかたを考えて行動することができる。 c: 共生社会における日常活動の中で、身近な人に対して、周りの人と協働して積極的に支え支えあう行動をとることができる。	ワークシート	ワークシート レポート 行動観察	ワークシート レポート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度